

31H 石津 達也 32H 内藤 百花 33H 北川 紗良
 34H 岡辺 翔 35H 細川 歩夢 36H 井田 七海

■課題

農家の経営費用の負担軽減

■解決策

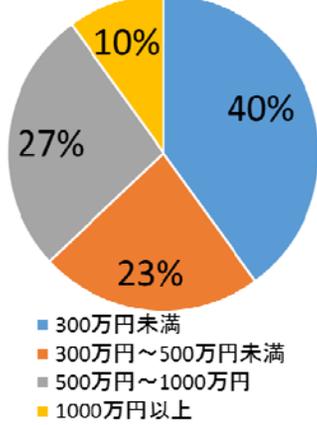
農業機械のレンタルサービスを普及する

■現状1 農業に関するお金

日本の平均年収の約416万円に対し、
農家の平均年収は約456万円

石川県の農家の収入は、
300万円未満が40%
300万円～500万円未満が23%

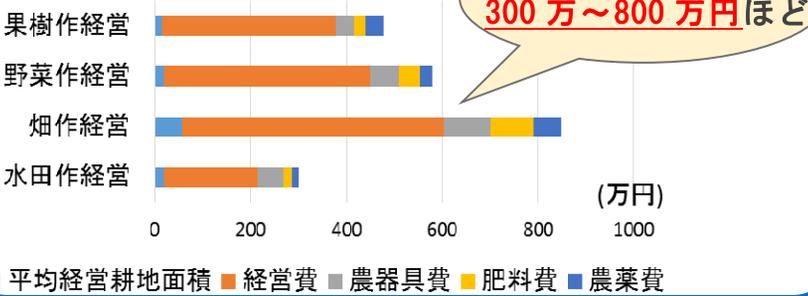
石川県の農家の収入(1)



平均年収より低い、または、
平均年収とほぼ同じ程度の人が
過半数を占めている

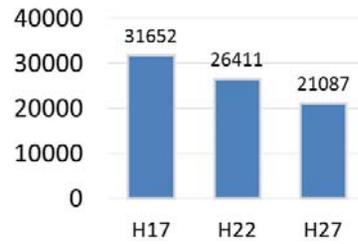


種類別経営統計(2)



■現状2 石川県の農家

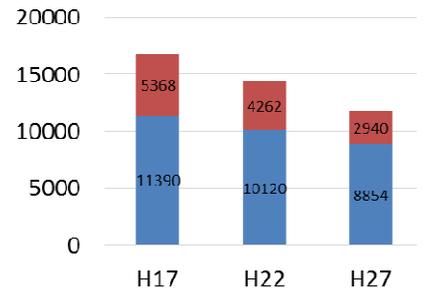
石川県の総農家戸数(3)



総農家戸数は10年間で
約1万戸減少

※農業就業人口のうち、普段の仕事として
主に自営農業に従事している者

※基幹的農業従事者数(4)



若者の農業離れ
高齢化

●なぜ農業は嫌なのか？

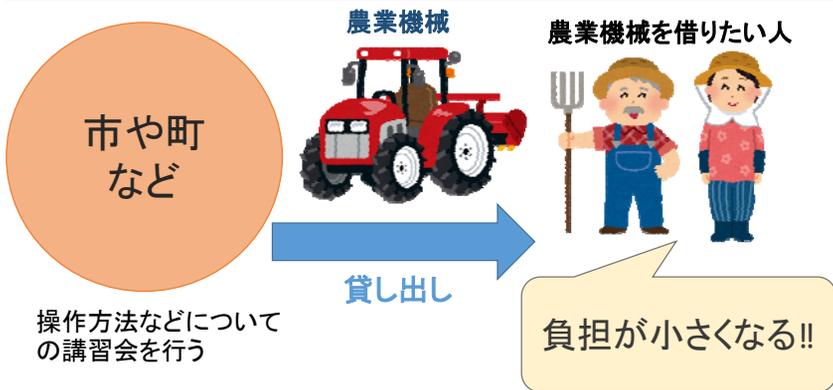
- ・収入が安定しない
(売り上げ、気候の影響)
- ・**農業への投資額が高い**
(機械、肥料など)

基幹的農業従事者数も減少
・65歳未満が10年で60%に
・65歳以上の割合が75%に

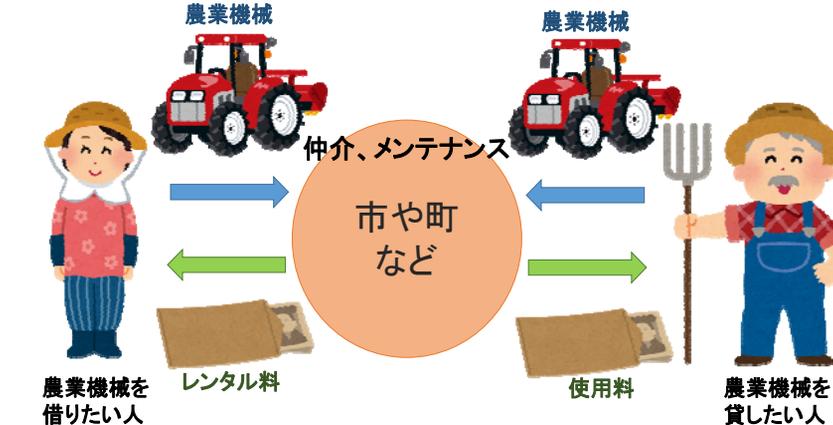
農業従事者の大部分を占める
高齢者の引退により、農地の
維持管理に支障が出る恐れ

■具体的内容

①市や町などが農業機械を買い取り、貸出



②農業機械レンタルマッチングサービス



■効果

①の場合

- ・農業機器のレンタルサービスによって農家の設備投資が減り、農家の負担を減らすことができる。

②の場合

<農業機械を借りたい人>

- ・買うよりも安く借りることができる
(機械を購入するとなると、非常に高額な費用が掛かる)
- ・メンテナンスやそのための費用が不要になる
- ・置き場所に困らない
(必要な時だけ借りることができる)

<農業機械を貸したい人>

- ・貸し出すたびにレンタル収入が入る
- ・メンテナンスが不要になる

①と②から

若者の就農、農地の維持管理の継続
が可能となり農地の保全につながる

■参考文献

- (1) 「農業構造及び所得の動向」 http://www.maff.go.jp/j/nousei_kaikaku/n_kaigou/02/pdf/data1.pdf
 (2) 「農業資材の生産及び流通の合理化に関する資料」 http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kikaku/bukai/H26/pdf/140529_02_04.pdf
 (3)(4) 「農林業センサス」 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>